

## 市町村分離合併は可能か

答 法的条件が整えば可能である



佐藤信親議員

た施策が課題と考えるがいかがか。

【答弁】 公平に事業執行にあたっては、

【質問】 小川地区においては、今の施策に対し多くの不満が増大し分離合併の機運が高まっている。そこで2点町長の考えを伺う。

①なぜ、このような地区住民感情を抱かせるような結果となったのか。

②分離合併は可能か。

【答弁】 ①効率的な行政運営を構築するためであり、吸収合併といった考えはない。

町政への理解を得るよう努力し邁進することが使命である。

②地方自治法に基づく手続きにより可能であるがそのような考えはない。

【質問】 ①旧両町の隔たりは容易に埋めることはできないが、地域の住民に配慮し

思いがある。分離合併をさせないような施策を今後努力していくと強い言葉を一言いただきたい。

【答弁】 一つ的那珂川町となるよう融和に努める。

【質問】 分離合併といった感情を排除するような施策を講じるよう期待し終わります。

### 文化行政に対する取り組み

【質問】 文化の薫るまち、歴史文化のネットワーク化を目指す」と町振興計画にあるが、次の2点について伺う。

①文化活動団体補助を提案型補助金として期限付きで補助金を廃止に追いやったことについて。②文化財愛護会への補助金打ち切りについて、町は文化財保護行政にどのような観点で取り組みをしているのか。

【答弁】 ①団体の理解を得て、3か年団体の育成、継続的活動の支援を行ってきた。今後とも文化振興の観点から支援協力していく。

②文化財愛護活動を推進するため愛護会とともに積極的に事業を行う。

【質問】 町の融和を図る意味でも文化活動団体への補助は、文化の薫る町づくりには欠かせない団体であるから継続して補助するべきと考えらるが。

【答弁】 ①県補助金への切り替えや出演料で支援したい。

【質問】 施策として文化団体を育てるという考えがなければ文化は根付かないし、町にあるべきものは守り伝えるべきで、そのためには財政基盤を安定させるべきと考えるが。

【答弁】 ①町は事業費として対応しているが欠陥があるとする見直すことも必要であると思う。

【質問】 町の文化財を保護する政策的な観点に立ち補助すべきと考えるが。

【答弁】 馬頭・小川両地区に遺跡が多数あり文化財保護活動を考えると今後検討したい。

### 庁舎の建設場所は適切なのか

【質問】 庁舎の建設場所について適切かどうか次の3点について伺う。

①敷地は埋め立て地で以前は水田であったことを認識しているのか。②隣接地の建物建設時及び下水道工事時に大量の湧水があったことを認識しているか。③町検討委員会委員の3分の2の委員が旧水産試験場跡地という委員会報告を知らないで場所の決定をしたのか。

【答弁】 ①②真摯に受け止め今後の測量、調査、造成、設計に反映させたい。

③委員会において一人の委員の意見として発言したものと認識している。

### 民間産業廃棄物処理施設の設置許可権限は

【質問】 8月6日の処分場説明会の席上で民間処分場の建設についての質問に町長は、造らせないと答弁しているが許認可権限は町にあるのか。

【答弁】 民間の処分場施設の許認可権限は知事にあるが、許可の前提として事前協議の中で町への照会がある。その中で、生活環境の保全上支障が大きいとの意見を述べる事が可能と考えている。